

水戸市城東

発行責任者／中島弘友
 編集／生涯学習部
 事務所／水戸市城東市民センター
 TEL/FAX 029-221-9974
 印刷／佐藤印刷(株)
 〒310-0043 水戸市松が丘2丁目3-23

城東小学校創立150周年記念集会開催

令和5年11月25日開催



城東小学校創立150周年記念特集号

「ふれあい」

水戸市城東地区自治団体連合会

会長 中島 弘友

平素は、当会主催の諸行事に温かいご理解、ご支援・ご協力を賜りまして誠に有難く心から感謝し厚く御礼申し上げます。次年度へ移行させていただきます。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっており、自治連予定の年間行事は殆ど開催されなまま4年が経過し、第五類へ移行されました。この先、収束（終息）する見通しが不透明なまま、次年度を迎えようとしております。

昨年11月25日（土）には、水戸市立城東小学校創立150周年記念集会が挙行されました。（今号は創立記念特集号になっておりますので、詳細については本文をご参照願います。）

令和6年10月または11月に第19代横綱常陸山関の生誕150年記念セミナー（案）が城東小学校体育館を会場に計画されております。

令和元年度以来4年ぶりとなる第44回城東文化展が2月3日（土）・4日（日）に展示の部、17日（土）には、発表の部がそれぞれ大勢のご来場の皆様方をお迎えして開催されました。

平成27年3月に作成し全戸配布してあります城東地区第一次コミュニティプランの内容の検討（精査）の時期になっておりますので皆様のご協力をお願いしたいと存じます。

今後より一層住みよいまちづくりを推進して参りたいと存じますので今後とも何卒宜しくお願い致します。

第62回 水戸市体育祭 城東地区 市民運動会

10月8日開催



城東小学校創立150周年記念特集

創立150周年を迎えて

水戸市立城東小学校長 伴 早苗

城東小学校は、明治6年（1873年）5月根積町に蒼龍学校として誕生以来、150年となりました。今年度大きな節目を迎えることができましたのも、開校以来地域の皆様の愛情やご支援をたくさんいただき、保護者の皆様のご協力のお力に支えられたお陰と感じております。感謝申し上げます。この150年の間、本校に勤務された教職員の皆様、また本校で学び、巣立っていった数多くの子どものひとりひとりが、大切に守り育ててきたことが、栄えある歴史と伝統となって引き継がれてまいりました。

歴史を振り返りますと、開校して以来、校名の変更ばかりでなく、学校の場所を移転したり大きな火災等で校舎を焼失したりと幾多の困難を乗り越えながら城東小学校が昭和22年4月現在の地に誕生したのです。現在では、あたりまえのような教育活動を行っておりますが、それは先人の方々の思いや地域の方々の願いが脈々と受け継がれてきているからだと改めて感じております。

さて、創立150周年のこの一年間の教育活動は、校訓である『正しく、なかよく、たくましく』の具現化を図ることを念頭に、記念事業にふさわしくなるように努めました。運動会、持久走大会、遠足などの大きな行事をはじめとした日々の教育活動では、150周年にこだわった活動をして参りました。それらの教育活動ひとつひとつで、子どもたちは目的を達成しようと、友達と協力しながら一生懸命に取り組む元氣な姿を見ることができました。

今後も長い歴史と伝統の灯を絶やさぬよう、教職員一同一丸となって教育活動を推進してまいります。地域の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

城東小学校創立150周年

にあたって感謝の言葉

令和5年度城東小学校

PTA会長 宮河伸悟

皆様、いつも温かいご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、城東小学校が創立150周年を迎えることができましたことを心より嬉しく思います。

150年の歴史の中で、城東小学校は、地域社会との絆を深め、多くの子どもたちに教育の機会を提供してまいりました。その中で、地域の方々からは様々な形で絶え間ない温かいご支援とご協力を賜っております。例えば、登下校時の見守り、校庭の除草作業、また小学校振興会賛助金など。それらのご支援は、子どもたちにより良い教育機会と教育環境を提供し、彼らの将来の可能性を広げることに繋がっております。PTAを代表しまして、心より感謝申し上げます。

創立150周年を迎えるにあたり、これまでの歩みに感謝し、さらなる発展に向けて進んでまいりたいと考えております。子どもたちの成長を支えていくにあたり、城東小学校と地域の絆を深め、子どもたちの可能性を共に育んでいくために、どうぞ変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。ありがとうございますが感謝の言葉とさせていただきます。

この度は記念誌発行誠におめでとうございます。



城東小学校校舎

城東小学校創立時の校舎（水戸空襲により焼失）及び昭和22年に建てられ昭和28年に焼失した校舎の写真は見つかりませんでした。



旧校舎



講堂



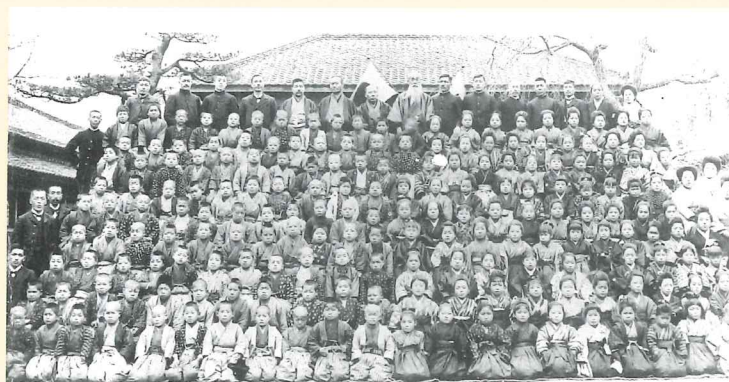
旧第2校舎



現校舎

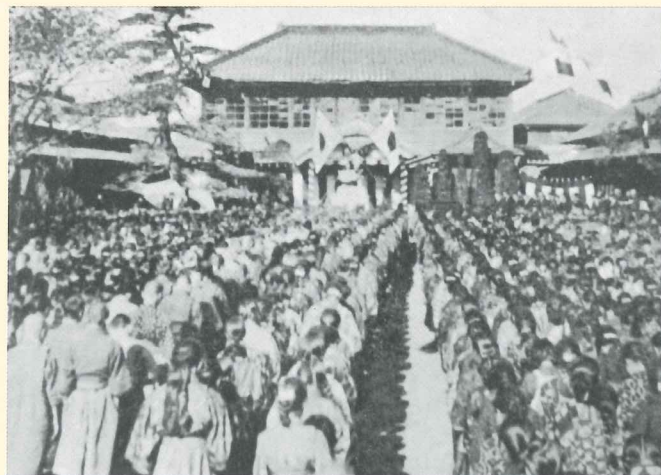
沿革の概要

	城東小学校150年の歩み	できごと等
明治 5年(1872)		8月 「学制」頒布 学校制度の体系を小学・中学・大学とした。
明治 6年(1873)	蒼龍学校を根積町26番地に開校する。(5月3日) 竹隈女学校を横竹隈町61番地に設ける。(11月13日) 鍛冶町に分校を設け、鍛成小学校と称す。(12月23日)	
明治 7年(1874)	蒼龍学校を下市小学校と改称。(9月8日)	6月 「本県小学校教則」頒布 小学を分ちて上下2等とし、在学各4か年、上下合わせて8か年とす、上下小学の課程を各8級に分ち、毎級6か月の習業とする。
明治 9年(1876)	竹隈女学校を下市女学校と改称。(11月7日)	
明治10年(1877)	竹隈55番地に校舎を新築移転する。生徒数330余名。 鍛成小学校を廃止する。(1月21日)	
明治12年(1879)		9月 「学制」を廃し「教育令」の公布
明治14年(1881)		5月 「小学校教則綱領」公布 小学校の学年段階を3段階、初等科、中等科、高等科とし科目の編成と教授の内容を規定した。(初等科中等科各3か年、高等科は2か年となる。)
明治17年(1884)	下市大火の際、下市小学校及び下市女学校共に類焼。 記録及び器具の殆ど全部を焼失した。仮校舎を数か所に設け、直ちに授業を開始する。(5月17日)	下市大火。 七軒町、本町、竹隈町、細谷焼失1200戸
明治18年(1885)	本校敷地を整理し、校舎を再築して下市女学校を合併する。東部教室を下市男子小学校、西部教室を下市女子小学校と称した。(5月)	8月 「教育令」改正公布
明治19年(1886)	下市女子小学校を併合して、下市尋常小学校と改称する。 (5月)	4月 「小学校令」を公布 小学校、中学校、師範学校いずれも尋常・高等の二つの段階をもって編成した。義務教育制度が確立。
明治21年(1888)		「市制町村制」の公布
明治22年(1889)	市制施行に際し、校名、位置、学区の指定がある。 (6月12日)	2月 大日本憲法が公布 4月1日、市制施行され水戸市が誕生
明治25年(1892)	水戸市下市尋常小学校と改称する。(5月)	
明治33年(1900)		8月 「小学校令」改正／義務教育4年制
明治34年(1901)	本校に幼稚園を付設する。(4月1日)	
明治35年(1902)	幼稚園舎を竹隈町側の運動場に新設する。(5月)	
明治36年(1903)		4月 教科書国定制となる
明治40年(1907)	第4商業補習学校を付設する。(10月)	3月 「小学校令」改正 尋常小学校6年高等小学校2年の制度となる。 義務教育6年に延長



明治40年頃 下市尋常小学校

城東小学校150年の歩み		できごと等
明治43年(1910)	本校男女両校に分離する。 男子は旧校舎に収容して水戸市下市男子尋常小学校と称し、女子は轟町658番地に校舎1棟を新築して水戸市下市女子尋常小学校と称す。	
明治45年(1912)		3月 電話を架設する。
大正 5年(1916)	男女両小学校を併合して水戸市下市尋常小学校と称す。 (6月26日)	
	7月1日開校式を挙げる。	
大正 7年(1918)	第一回水戸市小学校連合運動会を開く。(10月26日)	
大正 8年(1919)	「小学校令」一部改正により、4年生から理科を課す。(2月6日)	
大正12年(1923)		9月 関東大震災
大正13年(1924)	創立50周年記念祝賀式を挙げる。校歌制定。(11月3日) 関東大震災のため1年延期して行われた。	
大正14年(1925)	通用門入り口の所に2階建て4教室を増築した。(9月) 浜田の地に校舎新築、4学年以上の児童を移し教授する。 (11月)	
昭和 2年(1927)	水戸市下市尋常小学校に女子を収容し、男子は新たに独立した水戸市浜田尋常小学校へ収容した。(4月1日)	
昭和 6年(1931)	竹隈幼稚園独立し、校長が園長を兼任する。(4月1日)	9月 満州事変起こる。
昭和 8年(1933)	水戸市下市尋常小学校を水戸市竹隈尋常小学校と改称。 (4月1日)	
	校訓制定「至誠・勤労・親愛」(9月)	
	創立60周年記念式典挙行。(11月3日)	
昭和 9年(1934)	学区制を実施し、男女共学の学級編成となる。(4月1日)	
昭和10年(1935)	「深化を目ざす竹隈教育提要」完成。(9月)	
昭和12年(1937)	川崎町342番地に校舎を新築し、再び学区を変更し水戸市城東尋常小学校と改称し、4月13日より移転を開始する。 校旗授与式挙行、二宮尊徳先生像完成。(4月) 新築記念祝賀会を挙げる。(城東小開校記念日5・15)	4月 文部省「国体の大義」を全国の国民・特に教育界に頒布した。 7月 日華事変起こる。
昭和13年(1938)	6月29日から7月5日天明以来の大水害にあい、校舎浸水する。9月再度の水害にあう。	6月 那珂川氾濫城東地区全域水害 9月 那珂川氾濫城東地区家屋1672浸水
昭和14年(1939)	皇民錬成訓育研究会開催。(3月) 少年団キャンプ大貫海岸で実施。(8月) 興亜奉公日設定(毎月1回)(9月)	5月 「青少年二賜ハリタル勅語」下賜
昭和15年(1940)	学校主催のもとに学区慰霊祭挙行。 (戦没者、物故職員、物故児童)	11月 紀元2600年式典挙行



大正13年 創立50周年祝賀式

	城東小学校150年の歩み	できごと等
昭和16年(1941)	水戸市城東国民学校と改称する。(4月1日)	3月 「国民学校令」公布
昭和18年(1943)	訓育学校として全国国民訓育連盟より推奨される。(8月)	12月 太平洋戦争勃発
昭和19年(1944)		「戦時教育令」を公布
昭和20年(1945)	水戸空襲により校舎焼失 (8月)	学校の教育活動をほとんど停止するという措置をとった。
昭和21年(1946)	青空教室、雨の時は枝川小学校や民間の教場での授業。	7月 学童集団疎開
昭和22年(1947)	校舎竣工、水戸市立城東小学校と改称し、水戸市立城東中学校を併設する。	8月 水戸空襲
昭和23年(1948)	水戸市立城東中学校は浜田中学校と合併、水戸市立第3中学校となり、旧市立女学校跡に移転する。(4月1日)	8月 日本国無条件降伏
昭和24年(1949)	水戸市立城東幼稚園開園 (5月)	9月 「新日本建設の教育方針」を文部省が示した。
昭和26年(1951)		5月 文部省「新教育の指針」配布
昭和27年(1952)		11月 日本国憲法が公布。
昭和28年(1953)	創立80周年記念式典を挙げる。(10月10日)	3月 「教育基本法」、「学校教育法」公布
昭和29年(1954)	火災により校舎焼失する。	4月 六・三制発足
昭和33年(1958)	1年から4年は残った校舎で授業。5年生は浜田小学校6年生は水戸市立第3中学校で授業。	9月 キャサリン台風那珂川氾濫
昭和35年(1960)	校舎竣工 (7月5日)	9月 アイオン台風那珂川氾濫
昭和36年(1961)		5月 「児童憲章」を制定
昭和39年(1964)	創立90周年記念式典を挙げる。(3月3日)	学校給食実施方針を定める。
昭和40年(1965)	水戸市特別実験地区「県都として望ましい教育課程の調和的研究」を発表する。(10月15日)	8月 文部省学習指導要綱告示
昭和41年(1966)	蒼龍城完成する。(3月24日)	道徳教育の時間特設
	愛校日を設定する。(5月4日)	
	理科室・図工室竣工。(7月15日)	10月 オリンピック東京大会
		9月 「期待される人間像」答申



昭和30年代 代官町

	城東小学校150年の歩み	できごと等
昭和43年(1968)	43・44年度県福祉教育研究指定校となる。(4月24日) プール完成(7月19日) 交通トレーニングコース完成、交通安全教育研究推進校となる。(8月21日) 学校給食優良学校として文部大臣賞を受ける。(11月27日)	明治100年記念行事
昭和44年(1969)	水府流水術学習会がプールで始まる。(8月) 全国健康優良学校特選校となる。(11月3日)	
昭和45年(1970)	校門竣工。(3月23日) 町名変更(城東2丁目7番62号となる)(5月1日) 校門両側フェンス(金網)完成。(9月30日) 東京放送主催「こども音楽コンクール」茨城大会に参加優良賞を受ける。(9月25日) 青少年健全育成事業学校開放学級開設。(70日)(10月5日) 学校保健優良学校として文部大臣賞を受ける。	3月 大阪万博開幕
昭和46年(1971)	「よい歯の学校」5年連続表彰を受ける。(12月1日)	4月 小学校教育課程実施
昭和47年(1972)	学校無人化(耐火書庫、防犯ベル、防犯灯設置)(9月)	1月 竹隈公民館城東分館設立
昭和48年(1973)	創立100周年記念式典挙げる。(4月22日)	
昭和50年(1975)	校庭開放開始	
昭和52年(1977)	特殊学級開設	
昭和56年(1981)	新校舎・屋内運動場(体育館)竣工(3月) 校訓「正しく・なかよく・たくましく」に改定(7月)	4月 城東公民館独立
昭和57年(1982)	新校舎並びに屋内運動場(体育館)竣工式挙げる(1月)	
昭和59年(1984)	総合遊具・谷川渡り完成(11月)	
平成1年(1989)	体育館東側観測園設置完了(3月)	1月 昭和天皇崩御 平成と改元
平成2年(1990)	東日本吹奏楽演奏大会出場(3月)	
平成3年(1991)	関東甲信越小学校理科研究校の指定を受ける(4月) ソーラーボイス設置(7月)	
平成4年(1992)	吹奏楽関東大会コンクール出場(金賞)(9月) 関東甲信越小学校理科研究大会の発表を行う(11月)	
平成5年(1993)	航空写真撮影(創立120周年記念)(6月) TBSこども音楽コンクール水戸地区大会最優秀県代表(8月) ランチルーム開設(9月) 創立120周年記念フェスティバルデー(11月) 全日本吹奏楽コンクール大会出場(関東地区代表)(11月)	



創立120周年記念フェスティバル

	城東小学校150年の歩み	できごと等
平成 6年(1994)	玄関前飾り棚・藤棚完成(創立120周年記念)(3月) 生活科飼育小屋完成(3月) 屋上校訓掲示板を掲げる(5月) 水府流伝承にて全国表彰を受ける(8月) バザー収益金にて児童用図書購入(11月)	
平成 7年(1995)	コンピューター教室完成(11月) バザー収益金にて児童用図書購入・桜苗木植樹(11月)	1月 阪神大震災 3月 地下鉄サリン事件
平成 8年(1996)	那珂川に関する研究で表彰を受ける (サケの卵の孵化・放流)(11月) バザー収益金にて児童用図書購入(12月)	
平成 9年(1997)	「よい歯の学校」で表彰を受ける(2月) バザー収益金にて横山大観の作品壁掛け収納ケース設置 (11月)	
平成10年(1998)	那珂川増水 緊急避難所となる(8月) 第1回城東ふれあい祭り開催	
平成13年(2001)		9月 米国同時多発テロ事件
平成16年(2004)	バックネット設置 (PTA・教育振興会・子ども会育成連合会寄贈)	
平成19年(2007)	「命の大切さを学ばせる体験活動」文部科学省より表彰	
平成21年(2008)	「大好きいばらき花いっぱい運動」促進事業 10周年特別奨励賞	
平成23年(2011)	東日本大震災による被災のための補修工事	3月 東日本大震災 福島第一原発事故発生
平成25年(2013)	創立140周年記念行事実施	
平成26年(2014)	横綱白鵬が城東小学校に來校	12月 常陸山生誕140周年記念 常陸山記念公園で白鵬土俵入り披露
平成28年(2016)	エアコン設置	
平成29年(2017)	水戸市保幼小連携研究指定(完結)	
平成30年(2018)	水戸市小中一貫教育研究指定(完結) 横山大観生誕150周年記念セミナー体育館で実施(11月)	
令和 1年(2019)		9月 茨城ゆめ国体開催
令和 2年(2020)	洋式トイレ化工事完了 新型コロナ感染対策(休校・リモート授業・マスク着用) 花と緑の環境美化コンクール県教育賞	中国に端を発する新型コロナ感染拡大 緊急事態宣言発令
令和 3年(2021)	校内LED電球化工事完了	オリンピック東京大会開催 新型コロナ変異株が猛威
令和 4年(2022)	3月城東幼稚園が閉園 租税教育推進校水戸税務署長より感謝状	
令和 5年(2023)	創立150周年記念集会実施	



運動会で演奏する金管バンド

城東小学校の思い出

10代 私と城東小学校

令和2年度卒業 M・U

私の家の祖父、父、そして私と代々通ってきた城東小学校が、昨年で開校百五十周年を迎えたそうで、すごい事だと思っています。

私の住んでいた家は城東小のすぐ近くにあり、常に身近に感じていました。以前校舎が木造だった頃には、火事で全焼してしまった事、それより昔は、二度も水害に遭っていた事などを知り、驚きと同時に城東小の百年以上の歴史を実感できました。

私の通っていた頃のことを振り返ってみると、城東小では地域の人とふれあう機会が多く、貴重な経験がたくさん出来たように思います。毎年実施される「ふれあい祭り」では児童達だけではなく、地域の人達が一丸となってお店を開いて下さり、子供達と共に楽



しんだりした事で様々な人と関わり、交流を深めることができました。

他にも勉強の一環として町探検、交通安全教室や健康に関する講習会、堤防を走る持久走大会、市民運動会、それに登下校を見守ってもらう等の多くのイベントを通して、楽しく安全に過ごすことができました。

改めて城東小で六年間過ごせた事は良かったな一と思っております。

20代 私と水府流

平成27年度卒業 内藤 晴香

私の小学校の思い出は、水府流の講習です。毎年夏休み期間に開催されていて、兄や友達と一緒に参加しました。夏休み中の学校内や体育館に入るのは、少し特別な感じがしてワクワクしたのを覚えています。講習にはたくさんの子どもたちが参加していて、学年



問わずみんなワイワイ泳ぎの練習をしました。最初は水府流の泳ぎ方なんて知らなかったし、形も独特だったのでコツを掴むのが難しく、なかなか上達しませんでした。講師の方々が丁寧に教えて下さり、何度も練習して上手に泳げるようになりました。大きくなった今でも泳げます。暑い中水の中に入るのは気持ち良かったし、泳ぎがどんどん上達していくのを感じることができてとても楽しかったです。

30代 城東小学校の思い出

平成10年度卒業 西川 雄大

小学校を卒業してから二十年以上の月日が流れました。小学校の前を通ると変わらない校舎、グラウンドにある大きな銀杏の木、「正しく なかよく たくましく」の校訓、正門にある蒼竜城。それらを見るたびにたくさん思い出が蘇ります。

まず、私の記憶の中では、小学校一年生の時に創立二十周年だったような気がします。その時には、「120」の文字をグラウンドで作り、上空から撮影した写真の下敷きを貰った記憶があります。

次に、中休みや昼休みについてです。持久走大会に向けてたくさん走ったことや縄跳び週間にたくさん跳んだこと、ドッジボール、キックベース、サッカーなどたくさん遊んだことです。その時には友達だけでなく先生達も一緒に遊んでくれたり走ってくれたりした思い出です。

そして、一番の思い出は、サケの放流です。今も続いていると聞いています。気温の低い日には水温も低く水槽



40代 (ぬ) き手にのしの水府流

平成4年度卒業 栗橋 保史

の掃除は手が凍りそうな思いをしながらサケの卵を育てていました。少しでもサボってしまうと孵化しないので、毎日の水槽の管理は大変でしたがやりがいを感じていました。

正しく・なかよく・たくましくという校訓のもと、宿泊学習や社会科見学など様々な学校行事がありました。特に思い出に残っているのは、「水府流を学ぶ会」です。

私は小学校高学年まで、うまく泳ぐことができませんでした。出来たことと言えば、精々プールの壁を蹴って、そのままうつ伏せになって水面に浮いたまま進む「けのび」ぐらい。クラスの中で、泳げないのは自分含めて数名

城東小学校の思い出

だけ、という後ろめたさもあり、当時、体育のプールの時間が本当に嫌でした。そんな時に学校行事として開かれたのが、「水府流を学ぶ会」です。

そう、水戸郷土カルタにも出てくる、「(ぬ)き手にのしの水府流」です。

水府流水術協会から来られた片岡先生が、「そうか、泳ぐの苦手か。でもね、こういう楽な泳ぎ方もあるんだよ?」と優しく指南してくれたことがきっかけとなり、先ずは横泳ぎ(のし)で、しかも長い時間、泳げるようになり、そこから平泳ぎ、クロール、背泳ぎ、最終的にはバタフライまで泳げるようになりました。その後、片岡先生には水戸市民プールで慶応義塾大学水泳部の水府流合宿に参加させて頂き、また修善寺での全国大会にも出場できたことが懐かしい思い出です。

50代

創立百五十周年を迎えて

昭和53年度卒業 伊藤 尚久

私自身、城東小学校の卒業生で子供四人もお世話になりました。

私が小学校1年生の時に創立100周年を迎え校庭に全児童で人文字をつくり飛行機から撮影し記念品として、下敷きを貰った事を覚えています。

在校当時、木造2階建ての校舎で講堂があり、各学年4クラスで児童数が1000名程の学校だったと思います。その後、児童数の増加に伴いプレハブ校舎が建てられ学びました。私が卒業してから二年後に今の校舎に建て替えられました。

いろいろ思い出はありますが、持久走大会の練習として朝早く登校し、寒い中ランニングシャツに短パン姿で友

達と、どれだけ多く走れるか競争したことを覚えています。

城東小学校の思い出

60代

昭和44年度卒業 細貝 久美子

私は父の転勤で三年生の時に実家のある若宮町に越して来ました。当時の城東小学校は、木造の本校舎、西側昇降口から今のバス通りに向かって渡り廊下があり、南に行く右側に用務員室、その先には第二校舎があり、その二階が三年生の教室でした。

そしてさらに南側には、たくさんの花壇に囲まれた音楽室と講堂がありました。講堂では、雨の日の朝礼や体育の授業をしました。校舎の階段の手すりは木製なので、つやつやで良く滑り台のように滑って遊んだものです。また冬の朝の清掃では当番が用務員室に行き、金バケツにお湯を入れてくれ水で薄めて雑巾掛け、廊下の雑巾がけで競争したり、糠入りの雑巾がけで隣のクラスと比較したり。教室のストローは薪と石炭、雪の日の手袋は囲いの柵で干していました。

給食の思い出は、まず嫌いだったのがアルマイト製のお椀に入った脱脂粉乳、それからビンの牛乳に変わり、先割れスプーン、コップパン、ソフト麺など。欠席の友達には連絡帳とパンを届けに行きました。

大雨が降ると、消防署の裏の小川が氾濫し一帯は池のようでしたが、長靴に水が入ってもバシヤバシヤ音を立てて帰宅しました。今のように自家用車で送迎など夢のような時代でした。

家の近くは畑や田んぼ、夏は虫取り網を持って遊びに行きましたが、六年

生の頃には祖母の田んぼに南北に砂利の山がいくつも出来て、夕方は子供の遊び場でした。それが今のロココク(六号国道)です。

城東小学校の思い出

70代

昭和36年度卒業 栗橋 保隆

小学校を卒業して62年が過ぎた。昭和31年(1956年)に入学し、1、2年生を香取喜美子先生、3、4年生を朝比奈敏夫先生、5、6年生は久保田光男先生に担任としてお世話になった。4クラス、200人の学年だった。入学時には学校の横から裏にかけて幅3mほどの馬場川があった。流れの無い、どぶ川だった卒業する頃には石炭の燃え殻で埋め立てられた。

私は入学当時は学校を休みがちだったが、毎日つけていた日記を香取先生に褒められて自信が付き、その後は休むことが少なくなった。

3年生では教室が不足していたせいか講堂の2階の図工室が教室となった。日当たりが良く校庭が見渡せ快適だった。朝比奈先生は主に理科の先生で色々私に疑問に思ったことを詳細に教えてくださり、後に私が技術者を志す動機を頂いた先生で感謝している。

5年生になった時、校舎の西端に新たに教室が新築されて入った。久保田先生は美術の先生で国語の教科書に書かれた情景を黒板に絵を書いて説明してくださるなど分かり易く、また焼き物にも造詣が深く校庭の隅に「窯」を作り、我々生徒全員が作った粘土細工の作品を釉薬をかけて焼き物に仕上げてくださいました。その焼き物は今でも大

切に保管している。

城東小学校の思い出

80代

昭和24年度卒業 匿名 85才 男性

昭和十九年に入学。二十年には、水戸も危険となり疎開、その間空襲で学校が全焼したため何時から通学することになったかは定かではない。トイレは前を「むしろ」が下がってるだけという粗末なものであった。教室は無い為戦災で焼失しなかった級友の家の部屋を借りて勉強した。記憶では三軒を交代で行ったと思う。その後学校は再建された。学校での遊びは、登校するとサッカー(当時は今のようなボールではなく、スポンジ製の小さなボールを使用)を楽しんだ。体育の授業は、ドッジボールの試合が多かった様に思う。高学年になるにつれソフトボールが多くなった気がする。

90代

城東小学校の思い出

昭和12年度卒業 (98歳) 石井 昇

昨年11月に城東小学校創立150周年記念集會に現城東小の第1回卒業生としてご招待を頂いた。およそ90年前の古い記憶をたどつてみたい。

私は、昭和6年浜田小学校に入学した。当時、男子は浜田小学校、女子は下市小学校(後竹隈小学校に改名)であったが4年生になった昭和9年に学区制が敷かれ城東地区の子供は男女とも竹隈小学校に通うことになった。その後6年生になった昭和12年に城東小学校が新たにできて竹隈小から椅子

城東小学校の思い出

や机を皆列になって城東小に運んだことを覚えている。

校長先生は甲斐豊先生だった。1クラス45名前後で1学年4クラスあり男子2クラス、女子2クラスだったと思う。当時の遊びは3角ベース(野球で3塁なし)が主で、五軒町まで裸足で遠征し試合をしたこともあった。

また校舎のコンクリートの基礎にボールを投げて、帰ってくるボールをもう一人が拾うスカッシュに似た球技で遊んでいた。ボールは水中(現一高)グラウンドから落ちてくる硬式ボールを手に入れて素手でやっていたため手が痛かったのを覚えている。
注 本稿は令和6年1月石井昇様(98歳)のヒアリングに基づき起稿したものです。



雪合戦 S30年代



東部水泳場の風景



創立90周年記念式典



正門 PTA奉仕作業



野球大会

昭和30年代の城東小学校探訪(記憶の中で)

大串 寛

私は昭和30年代を城東小学校で過ごしました。私の記憶の中に残る城東小学校を思い出しながら訪ねてみます。

確か、正門は小山商店の前にあり、そこには茨交の停留所がありました。先生がバスから降りられ、正面から入ってくる光景をはっきり思い出せます。正面を入って両側には、大きな銀杏の木がありました。校舎に向かって右側には砂場があり、その付近に百葉箱がありました。私は百葉箱で気象観測するクラブに入っていました。そして、バックネットがあり高学年の時、ドッチボールのボールで、足で蹴る野球をしたことを思い出します。

校舎に向かつては、竹のぼり・雲梯・ブランコ等がありました。東の境界には桜川があり、コークスガラで埋立を行っていた風景を思い出します。昇降口から校舎に入ると左側に2階以上がる階段があります。1階は1年生の教室です。そこを過ぎると正面玄関・応接室・職員室がありました。西側の昇降口を出ると渡り廊下があり西側に給食室・こづかいさんの部屋、その先に火災で焼け残った校舎・トイレ・図書館があり、さらに進むと西側に城東幼稚園、東側に講堂がありました。講堂では沢山の思い出がありますが、鈴木さんのお父さんが先生で、剣道の稽古をしたのを思い出します。私の記憶の中の小学校は、いつまでも消えずに私の思い出に残っています。

編集後記

当初の編集企画では、城東小学校創立100年記念誌の後継版として、150年記念誌を発行することで、すすめていましたが、城東市民センター長の提言を入れ「ふれあい城東第66号」特集号として、城東小学校の150年の記録を入れて発行することとしました。また、城東小学校の思い出を10代から90代の方の方に投稿していただきました。城東小学校に通ったかたでなくともその思い出に触れてみてください。写真提供は和知紀良様より。この号が50年後に引き継がれんことを望みます。